



# 碧南ロータリークラブ週報

第2924回例会 令和元年9月4日(水)

- 会長 伊藤 正幸
- 幹事 黒田 泰弘
- 会場監督(SAA) 永坂 誠司

2019-2020 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



- 会報委員 鈴木きよみ・林 俊行・平松則行・石川鋼勇

## ● 斉 唱

国歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のお弁当

大正館

## ● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 本部長 伴野義雄様  
碧南市スカウト育成連絡協議会 碧南2団ボーイ隊 隊長 奥谷雅憲様

## ● 本日の卓上花

バラ (エクレール)、スプレーカーネーション

## 会 長 挨拶

こんにちは。ご挨拶を申し上げます。先週、奥津順司君、小林 尚君の御母堂様をご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますと共にご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、今月は「基本的教育と識字率向上月間」、そして、「ロータリーの友月間」となっております。かつて山中寛三先生がロータリアンには3つの義務があるというふうにおっしゃいました。例会出席、会費の納入、ロータリーの友の購読でございます。ロータリーの友は月初めの例会時にメールボックスに入れていただいております。クラブの会員になると無料で自動的に貰えるものだと私は思っております。今月号のロータリーの友を見ますと、そういうふうに思っていらっしゃる方



伊藤正幸会長

も多々おられるということでございます。

ここからはロータリーの友の今月号からのご紹介でございますけれども、世界には貧困や紛争、そして、学校が近くにないといった様々な理由から学校に行けない子供が 1 億 2000 万人おります。そして、大人になっても文字の読み書きや計算ができない人が 7 億 5000 万人以上おり、15 歳以上の 6 人に 1 人が読み書きができないのだそうでございます。そして、その 3 分の 2 が女性ということでございます。学校を作ったり、図書を送ったり、教師を育てるなど、世界各地での日本のロータリークラブの取り組みが紹介されております。

今年度、マーク・ダニエル・マローニーRI 会長の 4 つの強調事項に「国連との関係に焦点を置く」とありまして、国連の SDGs（持続可能な開発目標）にコミットメントしていると述べておられます。SDGs の内の 1 つに「質の高い教育の普及」がございます。ほとんどの国が初等教育で男女の平等を既に達成しておりますけれども、全ての教育レベルでこのターゲットを達成した国はないというふうに国連は言っております。基本的な教育は SDGs の目標の中の 1 つにあります「ジェンダー平等」における質の高い教育の実現についても、やはり考えを及ぼすということは、より良い未来につながるのではと僭越ながら思う次第でございます。2018 年の OECD 統計によりますと、経営管理職における女性の割合で、韓国と日本とトルコが、ずば抜けてのワースト 3 だそうでございます。米国では、経営管理職における女性の割合は既に 43.5%に達しておりますけれども、日本は未だ約 12%ということでございます。シカゴ大学の山口一男教授は、「人口の半分を占める女性の潜在能力を埋もれさせてしまう社会の発展が止まるのは当然である。現在のような社会のあり方を根本的に変え、性別に関わらず個人が潜在能力を発揮できる社会が実現できるか否かは、今後の日本国民の選択の問題である。」とおっしゃっております。

さて、本日のお客様は日頃から青少年の健全な教育にご尽力をいただいております碧南市スポーツ少年団と碧南市スカウト育成連絡協議会のお二方にお越しいただきました。この時期の子供たちの不安定な精神状態について様々取り上げられております。深刻な状況にある子供たちに社会全体で対処していかななくてはならない時代になっていると感じる次第でございます。後程、助成金の贈呈をさせていただきます。活動報告をいただきたいと存じます。

以上。会長挨拶でございます。ありがとうございました。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 例会変更のお知らせは、今週はございません。
- ・ 国際ロータリー日本事務局より 9 月のレートのお知らせが届いております。
- ・ ガバナー月信 9 月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ 地区 10 年史編纂委員会より、「地区 10 年史」販売のご案内が届いております。
- ・ 本日、配布物がたくさんございまして、返信が必要なものもたくさんございますので、よろしくお願い致します。その中で WFF は例会扱いということで、欠席はメイクアップが



黒田泰弘幹事

必要になりますので、その点をよろしくご承知おき願いたいと思います。

- ・ 本日、例会終了後に第3回の理事会がございますので、関係の皆様はご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 委員会報告

### <出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 10 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53/60 名	出席率 88.33%
欠席者 12 名 (病欠者 0 名)	

### <ニコボックス>

- 清澤 聡之君 スカウト育成連絡協議会に助成賜り、誠にありがとうございます。
- 竹中 誠君 妻の誕生祝い、ありがとうございます。今日は欠席で失礼します。
- 奥津 順司君 母の葬儀、無事見送る事が出来ました。
- 岡本 耕也君 会議所北側新規駐車場に当社れんがを使って頂き、ありがとうございました。施工も無事終わってホッとしています。
- 杉浦 秀延君 母校愛知県立碧南工業高校平成25年度電子工学科卒業(西端中学出身)、山下慎三朗君(デンソー入社)は、8月ロシア・カザン市で開催の技能五輪国際大会に出場。製造チームチャレンジの部で銀メダル(世界2位)に輝きました。国際大会でも活躍する卒業生が出て来ました。嬉しい限りです。
- 小林 尚君 先週、母が亡くなりました。家族葬で送らせていただきました。
- 縦山 朋久君 柴田さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

### <親睦活動委員会>

#### 会員誕生日

- 12日 長田 豊治君      13日 岡本 明弘君  
24日 水谷 文則君      25日 石川 鋼逸君

#### 奥様誕生日

- 15日 長田 和徳君の奥様 真由美様      21日 竹中 誠君の奥様 みのり様  
26日 森田 雅也君の奥様 千恵子様

#### 結婚記念日

- 2日 梶川 光宏君・久実子様 18年      3日 佐久間克治君・聡子様 30年  
23日 石橋 嘉彦君・里美様 37年      24日 黒田 昌司君・みゆ子様 40年  
26日 山中 寛紀君・恭子様 37年      30日 杉浦 邦彦君・真理子様 18年

### 「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」

碧南市スポーツ少年団 本部長 伴野義雄様



伴野義雄様

改めまして、碧南市スポーツ少年団 本部長の伴野と申します。日頃からスポーツ少年団の方には、皆様のご協力ありがとうございます。また、本日は貴クラブ様からの助成を賜り、深く感謝申し上げます。どうもありがとうございます。毎年、この場に呼んでいただきまして、色々と活動報告を述べさせていただいております。スポーツ少年団としては、毎年、同じようなことを進めているんですけども、昨年は少年団の交流大会がありまして、それを碧南市が担当させていただいたことを報告させていただきました。今年に関しては、特に大きなことはないのですが、今までの団体の発足と加盟状況等も含めて、ご説明させていただきたいと思います。

当スポーツ少年団は、西三河支部大会の開催地となったことをきっかけに今から約 20 年前に創設されました。その後、平成 13 年に組織を立て直して、現在の形態となりましたが、当時はまだ 6 種目、27 単位団、総勢 1,044 名でした。現在、少年団に関しては、小学生が中心になります。種目は、「空手・卓球・サッカー・剣道・野球・新体操・ソフトテニス・陸上・バスケットボール」の 9 種目あります。各地域に分かれて活動を行っているところを 1 つの単位団としておりますけども、空手道は 7 単位団ありまして、団員数が 162 名おります。卓球は 1 単位団で、団員数が 29 名おります。サッカーは 8 単位団で、団員数が 582 名おります。剣道は 2 単位団で、団員数が 34 名おります。野球は 6 単位団で、団員数が 263 名おります。新体操は 3 単位団で、団員数が 70 名おります。ソフトテニスは 1 単位団で、団員数が 10 名おります。陸上は 1 単位団で、団員数が 33 名おります。バスケットボールが 1 単位団で、団員数が 54 名おります。全部で小学生が 1,237 名、中学生が 92 名おります。小学生は碧南市の全校生徒数が 4,103 名、加盟が 1,237 名ということで、約 30%がスポーツ少年団に加盟して活動しているという状況になっております。

毎年、大きく分けて 4 つの事業を行っております。

1 つ目は、指導奨励費補助事業として資金面の援助を行っております。

2 つ目は、指導者養成事業としまして、指導者講習会の開催、指導者が各資格を取得するために必要な講習会に参加する際の費用の補助を行っております。

3 つ目は、安全確保推進事業としまして、熱中症の予防対策として毎年行っております。スポーツ少年団としては、市内のスポーツ店で使用可能な商品券を発行して、ドリンクなどに使ってもらおうということで、1 単位団 3,000 円の商品券を配布しております。今年は猛暑に備えて、熱中症を指数で測ってアラームで警報する WBGT という測定器を購入しまして、各単位団に貸与するなどの対策を行いました。翌年度も熱中症に対してやれることはしていきたいというふうに考えております。

4 つ目は、技術活動推進事業としまして、運動適正テストを毎年行っております。今年は平成 31 年 3 月 16 日に体育館で行いまして、全部で 104 名に参加いただきました。この適

正テストだけだとなかなか集まらないので、市内のスポーツ少年団の子供たちを集めて、レクリエーションスポーツ交流大会というのも実施しております。毎年、4 種目か 5 種目でちょっと遊びも兼ねたものを企画して、昨年はかなり多くの子供たちに参加していただきました。

また、西三河の支部大会というのがありまして、市内のスポーツ少年団の交流ということで、昨年は安城市で行いました。碧南からは 30 名出席してもらい、時間制限のあるところで楽しく過ごすことができました。今年は 11 月に知立で開催される予定で、ハンドボール体験やボッチャ体験を企画しているみたいです。来年は碧南で開催になりますので、どのようにやろうかと考えているところです。

子供たちの体の発達と精神の発達から色々な面で強くなってもらわないといけないということで、色々な企画を練ってこれからも活動を行っていきたいと思っております。活動に関しては、大きくは毎年のような形になりますけども、毎年、貴クラブ様から補助をいただいて、それを有効に使うって、これからも青少年の健全な育成を目指して、スポーツ少年団、役員、それに関わる皆さんと力を合わせて子供たちのために活動していきたいと思っております。

簡単ではございますがご報告とさせていただきます。本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございました。

## 碧南市スカウト育成連絡協議会

### 碧南 2 団ボーイ隊 隊長 奥谷雅憲様



奥谷雅憲様

皆さん、こんにちは。只今ご紹介いただきました碧南市スカウト育成連絡協議会 碧南 2 団ボーイスカウト隊の奥谷と申します。よろしくお願ひ致します。まずもって、毎年、ロータリークラブの皆さんより多大なる助成をいただきまして、ありがとうございます。また、今回もこのような席にお呼びいただいたことを厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

今回、私がお邪魔させていただくのが、振り返ってみると 3 回目かなと思うんですが、何度来ても緊張する席だなあと思いながら、お話しをさせていただくんですが、以前はボーイスカウト運動の中で特にロータリークラブでも掲げております「奉仕」ということについて少しお話しをさせていただいて、奉仕とは、「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そしてむくいを求めぬよう」ということでボーイスカウトは指導しておりますとお伝えさせていただきました。前回は 6、7 年前だったと思うんですが、今でもスマホで検索をすると、当時のことが出てきます。今回は現在の碧南のボーイスカウトの状況と、今年の夏にアメリカで開催されました事業について少しお話しをさせていただこうと思っております。

現在、中央・南中学区を碧南第 2 団のボーイスカウトで区分し、それ以外を碧南第 1 団ということで区分しております。碧南第 1 団には 49 名の加盟員、第 2 団には 43 名の加盟員が

本日現在おります。子供たちの数は両方を足すと 52 名、成人の数は 40 名ということで、世界的に見ても毎年どんどん減少の一途を辿っております。そんな中、今年の夏にアメリカで第 24 回世界スカウトジャンボリーという大会が開催されました。この世界スカウトジャンボリーというのは、4 年に 1 度、世界中のどこかで開催しております。今回につきましては、アメリカのウェストバージニア州で開催されました。今回、初めての試みとしては、会場に Wi-Fi を飛ばして、参加スカウト全員がスマートフォンの中で情報を得たり、以前ですと国際交流ということで、自分の名前や住所などを伝えるのに名刺を持って行っていたのが、全部スマートフォンの中のパーソナルデータでやり取りをするというやり方に変わったと聞いております。その会場に世界中の加盟国から約 4 万人のスカウトが一堂に会しました。日本からは 1,235 名の派遣をしました。碧南からは 1 人だけなんですけど、碧南南中学校の 3 年生の女子スカウトを派遣することができました。その子にどうだったかを聞くと、「4 万人もの人数が集まる開会式や閉会式で盛り上がったのは、とても楽しかった。会場に着いて、テントを張る時から雨が降ってきて、雨の中でテントを張るのが大変だった。」と話してくれました。プログラムで BMX という自転車のレースに挑戦したという話も聞いております。

第 24 回世界スカウトジャンボリーに今回は碧南から 1 名の派遣でしたが、過去には毎回ですが何名かのスカウトを派遣することができております。なかなかたくさんの方から集まる集いに参加する機会が青少年時代にはないと思うので、機会があれば、これからも 1 人でも多く派遣していきたいなと思っております。今回の世界スカウトジャンボリーのテーマが「新しい世界の扉を開こう」ということでした。来年、皆さんは十分ご承知のことと思いますが、東京五輪が開催されます。国際化を迎えている日本で、世界中がどんどん小さくなっているのかもしれないです。そんな中、我々スカウトが新しい国際という世界の扉を開いて飛び込んでいけるように指導していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

本日はどうもありがとうございました。

### 次回例会案内

令和元年 9 月 18 日（水）は定款第 8 条第 1 節 C により休会

令和元年 9 月 25 日（水）卓話「私の履歴書」

会員 長田一希君、石井和哉君